

一般質問

8月31日、9月1日の本会議で、19人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

三鷹版「ネウボラ」を目指し 産前産後ケア体制の充実を



公明党 大倉 あき子 議員

議員 妊娠・出産・育児を不安を抱えてスタートする女性が増えている。民生・児童委員による乳児家庭全戸訪問について、虐待防止の点からの取り組みを伺う。

市長 養育環境や母親の状況などの把握に努め、虐待が疑われる場合や所在をつかみにくいケース等の情報共有と対応に努めている。

議員 助産師による新生児訪問は申し込み制のため、うっかり忘れると受けられない。訪問率向上のためには丁寧な周知が必要だ。

市長 妊娠届提出時のほか、母親学級、両親学級や乳幼児医療費助成の申請時、民生・児童委員の訪問時等に案内している。

議員 国は、妊娠・出産包

高齢者が住み慣れた地域で 安心して生活できる施策を



公明党 粕谷 稔 議員

議員 高齢者が急増し、今後、住まいの課題への対策が重要性を増す。高齢者の住まいのニーズ調査と適切な確保について伺う。

市長 第六期介護保険事業

居・更新の際に、保証人の確保や家賃滞納などに対応した保険等に加えることで、貸主、借主双方の安心につながる。保険等の助成制度を設けてはどうか。

健康福祉部長 現時点では考えていないが、見守り等を含めた効果的な居住支援の中で調査研究していく。

議員 高齢者の残業が社会問題となっている。かかりつけ薬局を持つことで服用管理ができる環境になるのではないかと。所見を伺う。

健康福祉部長 在宅療養推

すべての子どもたちが 安心して暮らせる環境整備を



公明党 寺井 均 議員

議員 子どもの貧困問題が年々深刻さを増す中で、生活困窮世帯の子どもの学習支援や居場所づくりの拡充について、取り組みを聞く。

市長 生活保護受給者を含めた利用ニーズ等を把握して、国の財政的支援の動向も勘案しながら、今後のあり方の検討を進めたい。

議員 通学路の安全安心のため、シルバー人材センター等がボランティアで実施しているパトロールについて、今後の取り組みを聞く。

市長 引き続き、安全安心・市民協働パトロールの参加者拡充に取り組むとともに、若い世代に防犯活動への参加を働きかけたい。

議員 学童保育所や地域子どもクラブ事業における、教育委員会と市長部局との今後の連携について聞く。

教育長 今後市長部局と情報と課題を共有しながら、各学校の教室の利用状況等も勘案した上で、適切な対応を図っていきたい。

議員 国が全国の子育て施設等における事故情報のデータベースを公表した。今後の利活用について聞く。

子ども政策部長 今後、市内の情報に加えて、公表された情報も共有・活用しながら、重大事故の発生・再発防止に努めていきたい。

議員 今後の保育事故防止の取り組みについて聞く。



四小きらめきクラブと学童保育所との連携事業（第四小学校）

史跡玉川上水を安全に管理し 観光資源として活用せよ



民主党 高谷 真一朗 議員

議員 玉川上水は国の史跡に指定されているが、本来植生するはずのないシロの木が繁茂し、史跡として適正に管理されているとは言い難い状況にある。外来樹木の伐採等、都へ適正な管理を求めてもらいたい。

市長 都水道局では、外来樹木の伐採については、日常的な維持管理の中で行っているとのことであった。市としても、史跡との調和という観点で、更に積極的な適正な維持管理に努めるよう要請している。

議員 上水内には老木も生い茂っており、放置すればのり面が崩落する恐れもある。史跡玉川上水保存管理計画に沿った早急な対応を都へ求めてもらいたい。

その他の質問 三鷹駅周辺等の荷さばき車両について

不登校・いじめ対策の強化と 学童保育所の運営の拡充を



民主党 谷口 敏也 議員

議員 新たに設置された総合教育会議について、教育により深く関わる上での抱負を含めた所見を伺う。

市長 教育委員会と熱心に協議・調整を図り、学校、家庭、地域住民とともに参加と協働による子ども本位の教育行政を推進したい。

議員 文部科学省の調査によると、不登校者数は2年連続で増加している。本市

な指導を実施し、教育委員会としても学校の取り組みの検証をしている。

議員 不登校やいじめ問題の解決にスクールカウンセラーの存在は欠かすことができない。相談を待つだけでなく、子どもの中に入り、相談しやすい環境をつくることも必要ではないか。

教育長 今後、相談のあり方についても、十分丁寧な方法を考えていきたい。

議員 学童保育所は保育園より開所時間等が遅く、保護者にとって「小1の壁」と

医療・看護・介護の連携で 高福祉のまち三鷹の実現を



民主党 石原 恒 議員

議員 介護保険法改正で、2018年4月から在宅医療・介護連携推進事業を実施する。都内自治体で準備が始まる中、本市の取り組みが進まないとの声を聞く。行政主導の動きが期待されているのではないかと。

健康福祉部調整担当部長 認知症や在宅ケアの会議を医師会と協働で進める中で検討を継続しており、今後更に詰めていきたい。

議員 多職種連携体制づくりに取り組む中で、市は目指す方向性やグランドデザインを早急に示すべきだ。

市長 実際に機能する体制をつくるため、今後数年かけて丁寧な検討をする。

議員 三鷹市医師会には、開業医だけでなく杏林大学



第1回総合教育会議

なっている。対応策を問う。

市長 総合的に調査、勘案しながら保育時間の設定について検討していきたい。

市議会本会議は公開されており、本会議当日に市役所3階議会事務局で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます（ただし、児童及び乳幼児については議長の許可が必要となります）。